

(第1号様式)

平成24年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 40 学校名 千葉県立市川東高等学校 課程名 全日制の課程

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 教育活動の広報 2 地域に開かれた学校づくりの推進	① 学習日より、ホームページ、メール配信システムの活用 ② 保護者の学校行事への積極的参加 ・中学校訪問の充実	① 記載内容と発信状況 ② 行事への参加状況 ・保護者アンケートの結果 ・中学校訪問の実施状況
学習指導	1 わかりやすい授業の展開 2 家庭学習の習慣づけ 3 授業に取り組む姿勢の育成	① 授業アンケートによる評価 ・授業改善 ② 「自宅学習計画・記録表」の活用 ・宿題、課題の成績評価への反映 ③ 授業マナーの指導	① 「わかりやすい授業」について肯定的な回答50% ・授業公開の実施状況 ② 家庭学習の増加 ・成績不振者の減少 ③ 授業態度の改善状況
生徒指導	1 基本的生活習慣の確立 2 交通マナーの向上 3 問題行動の防止	① 時間を守り、身なりを正す指導を行う ② 登下校、LHR、集会等で指導 ③ 生徒の観察、教育相談等で問題行動の早期発見、早期対応	① 欠席、遅刻、中抜けの数 ② 近隣からの苦情件数 ・交通事故の件数 ③ 生徒間トラブルの発生件数
キャリア教育	1 卒業後の就職に備えて「入学しやすい大学」より「入学したい大学」を目指す 2 技術・資格を生かして必ず就職できる専門学校を目指す	① 学力向上 ② 上級学校研究	① 進学課外補習の充実 ・1～2学年 各学期学力テスト活用 ・大学見学実施検討 ② 進路ガイダンスの実施状況(進路説明会)、個人面談、教員研修会等

参考「県立学校に係る学校評価の実施基準」より

各領域に必ず設定する評価項目・内容

- ・学校経営：ホームページの掲載内容と更新状況
- ・学習指導：生徒による授業評価アンケートの結果，校内研究授業・研修会の実施回数とその状況
- ・生徒指導：生徒理解のための工夫・取組の状況
- ・キャリア教育：ガイダンス機能を充実するための工夫・取組の状況

平成24年度 学校評価実施報告書

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>1 「情報提供を積極的にしている」と思わない保護者は減少したが、PTA・学校行事の連絡が徹底していないのが現状である。</p> <p>2 PTA研修会が年に二回になり、体育祭見学者や学年PTAへの参加者も昨年に比べ倍増した。又、中学校訪問を年二回行い、訪問中学校も増加した。</p>	<p>1 携帯電話のメール配信をさらに有効利用する。</p> <p>2 クラス別PTAの実施を検討する。 中学校訪問のより効果的な時期と方法を工夫する。</p>
学習指導	<p>1 生徒満足度調査で「わかり易い授業」について肯定的な回答は44%であり、昨年度より7%増加した。今後50%を超えるよう努力が必要。</p> <p>2 「家庭学習計画・記録用紙」を各学年教務より継続的に配布し家庭学習の習慣化、学習時間の増加のための働きかけを実施した。</p> <p>3 ①朝自習の実施により生徒が自主的に学習目標を掲げて学習する意識付けを行った。 ②「学習だより」を月初めに定期的に配布し、学習についての意識を高め、目標に向かって真剣に学習に取り組む姿勢の醸成に努めた。 ③家庭学習の習慣化に向けて来年度から使用するスケジュール帳(仮称)の作成に取り組んでいる。</p>	<p>1 肯定的な回答が50%を超えるよう一層の改善に向けて全職員に呼びかける。</p> <p>2 より一層の家庭学習の習慣化に向けて「家庭学習計画・記録用紙」の活用を生徒に働きかける。</p> <p>3 ①朝自習参加生徒の増加のためにまだ参加していない生徒に活用を呼びかける。 ②「学習だより」のさらなる内容の充実を図る。</p>
生徒指導	<p>1 遅刻については学期を追うごとに増加傾向。服装は概ね守られているが、若干ではあるが逸脱者もいた。</p> <p>2 苦情については各学期に数件ずつあり、登下校の交通マナーの件でした。</p> <p>3 いじめ調査により、部活動内でのいじめがありました。</p>	<p>1 基本的な生活習慣の確立 服装の正しい着方等の指導を含め、対応した。</p> <p>2 交通ルールの遵守・通学マナーの向上</p> <p>3 調査等を活用して、早期発見・早期対応に努める。</p>

<p>キャリア教育</p>	<p>1・進学課外実施予定 (平日)2年:2講座27名、 3年:12講座360名、 (夏季休業中)1年:2講座27名、 2年:1講座18名、 3年:10講座269名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年1・2学期基礎学力試験3学期実力試験3年1学期基礎学力試験、模擬試験実施 ・2年校外学習にて大学見学要請 <p>→今年度耐震工事により校外学習中止</p> <p>2・進路説明会1・2年1回、3年2回 1年:30分科会、2年:27分科会 3年:26分科会、直前ガイダンス:3大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ実施(夏季休業中) つくばね幼稚園1年4名、 1日ナース・医療者体験1年2名3年9名 ・卒業生の作家森沢明夫氏講演会 ・高大連携は参加者が少数であった。 	<p>1・平成24年度夏季休業中の進学課外は耐震工事により教室が使用できないため千葉商科大学・千葉工業大学の教室を借用して実施。来年度1・2年の進学課外講座が少ないので各教科に開講を要請</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より1・2年は全員各学期ごとに学力の定着度を計る実力試験を実施。 ・今年度は耐震工事により校外学習中止のため、来年度、2学年校外学習で大学見学検討要請 <p>2・各学年、全体会と分科会を実施。同日の学年PTAにおいて予備校講師を招いて進路講演会実施。今年度耐震工事の影響により3学年進路説明会は規模を縮小して実施したが、2学期昨年受験者が多かった3大学講師を招いて入試直前ガイダンス実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度はなるべく1・2年生中心に実施をお願いする。 ・今年度単発的に実施 ・来年度から手薄であった理系大学との連携を実現させるため、千葉工業大学との連携を進めていく。又、参加生徒が増加する様生徒に働きかける。
---------------	--	---